

第3号議案

2002年度事業報告

1. 日本循環器学会年次学術集会

第67回日本循環器学会学術集会

会期：2003年3月28日(金)～30日(日)

会長：竹下 彰(九州大学循環器内科学)

会場：福岡国際会議場，福岡サンパレス，
マリンメッセ福岡，福岡国際センター

美甘レクチャー

A Radical View of the Superfamily of Cardiovascular Risk Factors

Donald Heistad (University of Iowa and VA Medical Center, USA)

真下記念講演

Regulatory Mechanisms of Synaptic Transmission in the Neural Network

中西 重忠(京大学生態情報科学)

特別講演

- Inflammation in Atherosclerosis
Peter Libby (Harvard University, USA)
- Recent Advances in the Treatment of Arrhythmias
Augustus Grant (Duke University Medical Center, USA)
- An Approach to Cardiac Hypertrophy: Cardiac Specific Receptor Signaling
Tadashi Inagami (Vanderbilt University School of Medicine, USA)
- Endothelial Control of Cardiovascular Function
Paul M. Vanhoutte (International Research Institute of Servier, France)
- Leptin, Obesity and Cardiovascular Disease
Allyn L. Mark (University of Iowa, USA)
- The Cardiovascular Choreography of COXs
Garret A. FitzGerald (University of Pennsylvania, USA)

会長講演

「より良い医療を目指して —医師の役割—」

竹下 彰(九州大学循環器内科学)

プレナリーセッション

1. Molecular Mechanisms and Therapeutic Strategy for Cardiac Remodeling
(心筋リモデリングの分子メカニズムと治療への展開)
2. Mechanism, Treatment and Prevention of Hypertensive Cardiovascular Disease —Progress and Remaining Problems—

(高血圧性心血管病の成因・治療・予防—進歩と課題—)

3. Characteristics of Atherosclerosis in Japanese —From Genes to Therapy—
(日本人の動脈硬化性疾患の特徴—疫学・病理から治療まで—)
4. Therapeutic Strategy for Intractable Ventricular Arrhythmias
(難治性心室性不整脈の治療戦略)
5. Frontier of Atherosclerosis Research
(動脈硬化研究の新展開)
6. Current and Future Perspectives of Minimally Invasive Cardiovascular Surgery
(低侵襲心臓血管外科の現状と展望)

シンポジウム

1. Role of Nuclear Cardiology in Clinical Decision Making
(治療方針決定における心臓核医学の有用性)
2. Progress in the Pathophysiology and Treatment of Pulmonary Hypertension
(肺高血圧症の病態解明と治療の進歩)
3. Usefulness of Ultrasound Medicine in the Diagnosis and Treatment of Coronary Artery Disease
(冠動脈疾患の診断・治療における超音波医学の貢献)
4. Current and Future Perspectives in the Treatment of Atrial Fibrillation
(心房細動の治療の現況と展望)
5. Restenosis after Percutaneous Coronary Intervention —From Bench to Bedside—
(冠動脈インターベンション後再狭窄 —基礎から臨床へ—)
6. Recent Advances in the Treatment of Valvular Heart Disease
(弁膜症治療の最近の進歩)
7. Progress in Ablation Therapy for Arrhythmias
(カテーテルアブレーションによる不整脈治療の進歩)
8. Treatment and Management of Congenital Heart Disease in Adults
(成人の先天性心疾患患者の管理の諸問題)
9. Management of Chronic Heart Failure —Problems in Japan—

(慢性心不全治療の治療と管理 —我が国における課題—)

- 10. Current Status and Problems in Heart Screening Program at School
(心臓検診の現状と問題点)
- 11. Frontiers of Surgical Treatment for Severe Heart Failure
(重症心不全の外科治療の最前線)
- 12. Diagnosis and Treatment of Diastolic Heart Failure —From Bench to Bedside—
(拡張不全の診断と治療 —基礎から臨床まで—)

AHA/JCS ジョイント・シンポジウム
Medical Frontier in the Treatment of Intractable Cardiovascular Diseases

APSC/JCS ジョイント・シンポジウム
Catheter Ablation

ESC/JCS ジョイント・シンポジウム
Frontiers of Hypertension Treatment

KSC/JCS ジョイント・シンポジウム
Current Status and Future in Percutaneous Coronary Intervention

ACC/JCS ジョイント・シンポジウム [ACC 会場 (シカゴ)とのテレカンファレンス]

New Horizons in the Management of Chronic Heart Failure

トピックス

コントロールシー

ミートザエキスパート

モーニングレクチャー

一般演題(口述・ポスター, Featured Research Session)

教育セッション

- 1. 医療事故とリスク・マネジメント
- 2. 肥大型心筋症の診療に関するガイドライン
- 3. わが国における心臓移植の適応と患者管理

サテライトセミナー(ランチョンセミナー, フェイアサイドセミナー)

市民公開講座

- 老いをいかに健やかに生きるか
- 心肺蘇生があなたの生命を救う
- タバコを吸う人, 吸わない人—タバコと心臓病について考える—(主催 禁煙推進委員会)
- 引き継がれる命を大切に

ガイドラインに学ぶ

第2回医師向け禁煙推進セミナー「病院の全館禁煙化を進める・禁煙外来を設置し, どのように支援をしていくか」

医師向けセミナー「新しい心肺蘇生法の普及の現状と今後の取り組み」

臨床検査系セッション

看護系セッション

機器・書籍展示

第20回 Young Investigator's Award ●最優秀賞
審査委員長 上松瀬勝男(駿河台日本大学病院循環器科)

- 岸 拓弥(九州大学循環器内科学)
Increased Hydroxyl Radicals in the Rostral Ventrolateral Medulla Contribute to Neural Mechanisms of Hypertension in Stroke-Prone Spontaneously Hypertensive Rats
- 加藤規弘(国立国際医療センター遺伝子診断治療開発研究部)
Successful Isolation of a Chromosome 1 Region Affecting Blood Pressure, Stroke, and Glucose Tolerance in the Stroke-Prone Spontaneously Hypertensive Rat
- 真田昌爾(大阪大学病態情報内科学)
Preischemic Protein Kinase-A Activation Evokes Ischemic Preconditioning Through Rho-Kinase Inhibition Independent of Protein Kinase-C —A Novel Mechanism—

●松田守弘(大阪大学分子制御内科学)
Role of Adiponectin in Preventing Vascular Stenosis — The Missing Link of Adipovascular Axis—

- 的場哲哉(九州大学循環器内科学)
Identification of Hydroben Peroxide as an Endothelium-Derived Hyperpolarizing Factor in Animals and Humans

第1回国際留学生 Young Investigator's Award ●最優秀賞

審査委員長 永井良三(東京大学循環器内科)
• Jesmin Subrina(北海道大学循環病態内科学)
VEGF, Its Receptors and Other Angiogenic Growth Factors are altered Potentially in an Age-related Manner in SHRSP Heart

- 呂 伝江(岐阜大学第二内科)
Ameliorating Effect of Autologous Bone Marrow Cell Transplantation in Rabbit Hearts with Cardiomyopathy

●Memon Imran Ahmad (大阪大学病態制御外科学)
A Tissue Engineered Myoblast Sheet Improves Cardiac Performance

- 袁 租貽(京都大学循環器内科学)

Cardioprotective Effects of Carvedilol on Acute Autoimmune Myocarditis: Anti-inflammatory Effects Associated with Antioxidant Property

第11回 CPIS (心臓血管薬物療法国際会議)賞

審査委員長 永井 良三(東京大学循環器内科)

- 中村一文(岡山大学循環器内科)

Carvedilol Decreases Elevated Oxidative Stress in Human Failing Myocardium

第12回八木賞

審査委員長 堀 正二(大阪大学病態情報内科学)

- 朝倉正紀(大阪大学病態情報内科学)

Cardiac Hypertrophy is Inhibited by Antagonism of ADAM12 Processing of HB-EGF: Metallproteinase Inhibitors as a New Therapy

第3回高安賞

審査委員長 白土 邦男(東北大学循環器病態学)

- 河野宏明(熊本大学循環器内科学)

Dehydroepiandrosterone Supplementation Improves Endothelial Function and Insulin Sensitivity in Men

第28回日本心臓財団佐藤賞

審査委員長 竹下 彰(九州大学循環器内科)

- 佐田政隆(東京大学循環器内科)

血管病の病態生理の解明と治療法の開発

2. 日本循環器学会地方学術集会

北海道地方会第87回学術集会

会期: 2002年6月1日(土)

会場: 旭川大雪クリスタルホール(旭川市)

会長: 笹嶋唯博(旭川医科大学第一外科)

参加人数: 220名

発表演題: 34題

北海道地方会第88回学術集会

会期: 2002年10月12日(土)

会場: 札幌タケダビル(札幌市)

会長: 西村正治(北海道大学分子病態制御学)

参加人数: 約220名

発表演題: 49題

東北地方会第134回学術集会

会期: 2002年6月8日(土)

会場: 岩手医科大学60周年記念館(盛岡市)

会長: 平盛勝彦(岩手医科大学第二内科)

参加人数: 200名

発表演題: 62題

東北地方会第135回学術集会

会期: 2003年2月22日(土)

会場: 仙台国際センター(仙台市)

会長: 丸山幸夫(福島県立医科大学第一内科)

参加人数: 約300名

発表演題: 74題

関東甲信越地方会第184回学術集会

会期: 2002年6月8日(土)

会場: 文京区民センター(文京区)

会長: 茅野眞男(国立病院東京医療センター循環器科)

参加人数: 708名

発表演題: 96題

関東甲信越地方会第185回学術集会

会期: 2002年9月21日(土)

会場: 日本大学会館(千代田区)

会長: 内山隆久(日本大学練馬光が丘病院)

参加人数: 704名

発表演題: 109題

関東甲信越地方会第186回学術集会

会期: 2002年12月7日(土)

会場: 日本都市センター会館(千代田区)

会長: 竹内靖夫(東京女子医科大学附属第二病院心臓血管外科)

参加人数: 597名

発表演題: 93題

関東甲信越地方会第187回学術集会

会期: 2003年2月8日(土)

会場: パシフィコ横浜(横浜市)

会長: 梅村 敏(横浜市立大学内科学第2)

参加人数: 590名

発表演題: 105題

東海地方会第118回学術集会

会期: 2002年6月22日(土)

会場: 名古屋国際会議場(名古屋市)

会長: 上田裕一(名古屋大学胸部外科)

参加人数: 528名

発表演題: 135題

東海地方会第120回学術集会

会期: 2003年2月22日(土)

会場: 名古屋国際会議場(名古屋市)

会長: 伊藤隆之(愛知医科大学循環器内科)

参加人数: 625名

発表演題: 165題

北陸地方会第103回学術集会

会期: 2002年7月7日(日)

会場: 金沢大学医学部(金沢市)

会長: 馬淵 宏(金沢大学血管分子遺伝学)

参加人数: 約200名

発表演題：58題
北陸地方会第105回学術集会
会期：2003年2月16日(日)
会場：金沢大学医学部十全講堂(金沢市)
会長：渡邊 剛(金沢大学心肺・総合外科)
参加人数：約300名
発表演題：57題
東海地方会第119回・北陸地方会第104回学術集会
会期：2002年11月9日(土)～10日(日)
会場：名古屋国際会議場(名古屋市)
会長：中野 赴(三重大学第一内科)
参加人数：652名
発表演題：199題
近畿地方会第93回学術集会
会期：2002年6月29日(土)
会場：ピアザ淡海滋賀県立県民交流センター(大津市)
会長：三ツ浪健一(滋賀医科大学総合診療部)
参加人数：601名
発表演題：117題
近畿地方会第94回学術集会
会期：2002年12月7日(土)
会場：大阪国際会議場(大阪市)
会長：岩坂壽二(関西医科大学第二内科)
参加人数：946名
発表演題：172題
中国地方会第80回学術集会
会期：2002年5月25日(土)
会場：米子コンベンションセンター(米子市)
会長：應儀成二(鳥取大学第二外科)
参加人数：260名
発表演題：98題
四国地方会第80回学術集会
会期：2002年7月6日(土)
会場：高松商工会議所(高松市)
会長：千田彰一(香川医科大学総合診療部)
参加人数：287名
発表演題：91題
中国地方会・四国地方会第81回学術集会
会期：2002年11月29日(金)～30日(土)
会場：くにびきメッセ(松江市)
会長：大田宣弘(島根県立中央病院循環器科)
参加人数：450名
発表演題：194題
九州地方会第92回学術集会
会期：2002年6月22日(土)
会場：アクロス福岡(福岡市)
会長：金出英夫(九州大学心臓血管研究施設分子細胞情報学)

参加人数：571名
発表演題：107題
九州地方会第93回学術集会
会期：2002年12月7日(土)
会場：琉球大学医学部(沖縄県中頭部)
会長：瀧下修一(琉球大学第三内科)
参加人数：300名
発表演題：133題

3. 学術調査・研究

- 1 川崎病心臓血管後遺症の診断と治療に関するガイドライン
(班長：原田研介)
- 2 心疾患患者の学校，職域，スポーツにおける運動許容基準に関するガイドライン
(班長：川久保 清)
- 3 感染症心内膜炎の予防と治療に関するガイドライン
(班長：宮武邦夫)
- 4 非心臓手術における合併心疾患の評価と管理に関するガイドライン
(班長：許 俊鋭)
- 5 自動体外式除細動器(AED) 検討委員会
(委員長：三田村秀雄)
- 6 不整脈薬物治療に関するガイドライン
(班長：児玉逸雄)
- 7 循環器疾患における抗凝固・抗血小板療法に関するガイドライン
(班長：笠貫 宏)
- 8 急性および慢性心筋炎の診断・治療に関するガイドライン
(班長：和泉 徹)
- 9 肺血栓・塞栓症および静脈血栓症の検査・治療・予防に関するガイドライン
(班長：安藤太三)

4. 循環器関連学会

第17回日本心臓ペースング・電気生理学学会
会期：2002年5月26日(日)～28日(火)
会場：富山国際会議場・富山全日空ホテル(富山市)
会長：三崎拓郎(富山医科薬科大学第一外科)
第11回日本心臓血管インターベンション学会
会期：2002年6月27日(木)～29日(土)
会場：徳島文理大学(徳島市)
会長：日浅芳一(徳島赤十字病院循環器科)
第38回日本小児循環器学会
会期：2002年7月10日(水)～12日(金)

会場：日本都市センター会館(千代田区)
会長：阿波彰一(杏林大学小児科)

第34回日本動脈硬化学会

会期：2002年7月18日(木)～19日(金)
会場：神戸国際会議場(神戸市)
会長：横山光宏(神戸大学第一内科)

第50回日本心臓病学会

会期：2002年9月9日(月)～11日(水)
会場：名古屋国際会議場(名古屋市)
会長：菱田 仁(藤田保健衛生大学循環器内科)

第19回日本心電学会

会期：2002年9月9日(月)～10日(火)
会場：名古屋国際会議場(名古屋市)
会長：渡邊佳彦(藤田保健衛生大学内科)

第6回日本心不全学会

会期：2002年10月2日(水)～4日(金)
会場：京王プラザホテル(新宿区)
会長：永井良三(東京大学大学院医学系研究科循環器内科)

第55回日本胸部外科学会

会期：2002年10月9日(水)～11日(金)
会場：シーホークホテル&リゾート(福岡市)
会長：安井久喬(九州大学医学部附属心臓血管研究施設心臓外科)

第25回日本高血圧学会

会期：2002年10月11日(金)～13日(日)
会場：日本都市センター会館(千代田区)
会長：藤田敏郎(東京大学大学院医学系研究科内科学)

第43回日本脈管学会

会期：2002年11月7日(木)～9日(土)
会場：京王プラザホテル(新宿区)
会長：隈崎達夫(日本医科大学放射線科学)

第16回日本冠疾患学会

会期：2002年12月13日(金)～14日(土)
会場：大阪国際会議場(大阪狭山市)
会長：石川欽司(近畿大学第一内科)
佐賀俊彦(近畿大学心臓血管外科)

5. 循環器専門医制度

- (1) 循環器専門医認定：2002年8月25日、日本都市センター会館(東京)及びレ・ルミエール(大阪)の2会場第13回認定試験を実施、認定者は396名(2003年3月1日認定)。
- (2) 循環器専門医認定更新：2003年度(1993・1998年度認定)循環器専門医1,025名の認定更新及び2002年度(1992・1997年度認定)循環器専門医20名の認定更新が承認された。
- (3) 循環器研修施設指定：2003年度指定循環器研修

施設は51施設の指定が承認された。

- (4) 循環器研修関連施設指定：2003年度指定循環器研修関連施設は46施設が承認された。
- (5) 循環器研修施設指定更新：2003年度循環器研修施設は287施設が指定更新された。
- (6) 循環器研修関連施設指定更新：2003年度循環器研修関連施設は97施設が指定更新された。
- (7) 『循環器専門医』刊行：専門医編集委員会よりVol.10 No.1, Vol.10 No.2 を出版。
Vol.10 No.1 は特集Ⅰ<基礎科学の進歩>特集Ⅱ<第65回日本循環器学会学術集会>(B5判222頁)Vol.10 No.2 は特集<第66回日本循環器学会学術集会>(B5判198頁)。

6. 国際学会後援等

- (1) AMERICAN HEART ASSOCIATION 75th SCIENTIFIC SESSIONS (AHA) November 11-17, 2002 Chicago, USA
- (2) AMERICAN COLLEGE OF CARDIOLOGY 52nd ANNUAL SCIENTIFIC SESSION (ACC) March 30-April 2, 2003 Chicago, USA
- (3) 24th EUROPEAN SOCIETY OF CARDIOLOGY (ESC) August 31-September 4, 2002 Berlin, Germany
- (4) 14th World Congress of Cardiology (WCC) May 5-9, 2002 Sydney, Australia
- (5) 第12回国際血管生物学会議 2002年5月12日～16日、長野県(軽井沢プリンスホテル)
- (6) 国際心筋症・心不全会議 2002年5月30日～6月1日、京都市(国立京都国際会館)
- (7) 第15回国際心臓血管循環動態学会 2002年10月13日～15日、仙台市(仙台国際センター)
- (8) 第18回国際臨床化学会議 2002年10月20日～25日、京都市(国立京都国際会館)

7. 機関誌刊行

- (1) 機関誌 Circ. J. Vol. 66 2002年は12冊1,291頁、平均発行部数約20,700部、原著投稿論文240件1,177頁(91.2%)、その他114頁(8.8%)を掲載。
- (2) 和文誌 Circ. J. Supplement は、4冊1,436頁、平均発行部数20,700部、年次学術集会和文抄録2,429件829頁(57.7%)、地方会学術集会抄録1,933件238頁(16.6%)、学術委員会ガイドライン308頁(21.4%)、その他61頁(4.2%)を掲載。
- (3) 2001年の投稿論文(Regular Paper, Case Reports)は、受付375件、受理論文は255件、却下120件(辞退を含む)で、採択率はRegular Paperは

70.56%, Case Reports は 63.89% であった。

また, Rapid Communication は, 受付 5 件, 採択 4 件, 却下 1 件で, 採択率は 80.00% であった。

- (4) 2002年の投稿論文 (Regular Paper, Case Reports) は, 受付384件, 内2003年3月6日現在までの採択論文は194件, 却下166件(辞退, 修正期限超過を含む), 修正中24件で, 採択率は Regular Paper は 66.10%, Case Reports は 30.65% であった。

また, Rapid Communication は, 受付 5 件, 採択 3 件, 却下 2 件で, 採択率は 60.00% であった。

査読には Editorial Board を含め452名(12号掲載)がその任務にあたった。

- (5) 2001年の Impact factor は, 0.711であった。
 (6) 『循環器専門医』 Vol. 10 No. 1, Vol. 10 No. 2: 専門医編集委員会より出版, B5判, 和文誌。(Circ. J. Vol.66 及び『循環器専門医』誌の刊行状況は後掲)

8. その他の事業報告

- (1) 学会規約の整備

正会員規程を整備して, 定款第51条にあるとおり「定款施行細則」として再編を行った。

- (2) 平成12年度発足 4 班分のガイドラインとそのダイジェスト版および平成13年度発足の AED 検討委員会の報告を公表した。
 (3) 第66回年次学術集会コンgresレポートのホームページへの掲載

第66回学術集会における招請講演等のハイライトを日循ホームページ英語版で報告した。(AHA での日循ブースで日循英語 HP 紹介の CD-R を配布)

- (4) AHA/JCS ジョイント・シンポジウムの実施
 AHA の正式プログラムの一部として, AHA/JCS 共催のジョイント・シンポジウムを開催した。

- (5) AHA 学術集会への広報ブースの設置
 2002年11月にシカゴで開催された第75回AHAの展示会場にて, 日循広報のためのブースを設置した。

- (6) 第26回国際内科学会への広報ブース出展
 2002年5月に京都で開催された第26回国際内科学会の展示会場にて, 日循広報のためのブースを設置した。

- (7) 日中医学大会2002の共催

2002年11月に北京にて開催された「日中医学大会2002」において, 分科会の一部として中国心臓学会との共同シンポジウム等を行った。

- (8) 韓国循環器学会との共同シンポジウム
 第67回学術集会からの実施が予定されている韓国循環器学会との共同シンポジウムの準備を進めた。
 (9) 第14回 WCC への広報ブース出展
 2002年5月にシドニー(オーストラリア)で開催された WCC の展示会場にて, 日循広報のためのブースを設置した。
 (10) 卒後教育研修用ビデオの製作・販売
 学会員の知識, 技能の向上に資するため, 卒後教育研修用のビデオの企画・制作を行った。
 (11) 「第2回医療裁判に関する講演会」の開催
 第67回学術集会期間中に, 医療裁判の鑑定人推薦制度と裁判の迅速化について理解を深めてもらうため, 医師・裁判官・弁護士等各方面の識者を招いて, 講演会を開催した。
 (12) 禁煙推進活動
 禁煙宣言を行い, 循環器疾患の予防と治療にとって重要である喫煙対策を学会として積極的に取り組んだ。
 1) 情報発信のホームページの充実
 2) 学会員及び循環器研修認定施設の喫煙の実態調査とその評価
 3) 各病院施設への要望
 4) 総会における医師向け第2回禁煙推進セミナー・禁煙推進のための市民公開講座の開催
 (13) 第1回卒前セミナーの実施
 医学生を対象としたセミナーを2002年7月28日(日)に東京大手町サンケイプラザにて開催した。
 (14) 循環器関連健保対策協議会の新設
 本会の健保対策委員会は, 現在国が進めている, 特定機能病院の包括評価制度導入に際し, 関係する循環器系の学会と協議し, 学会間の連絡機関として, 「循環器関連健保対策協議会」を設置することとした。今後の事業は厚生労働省の中央社会保険医療協議会(中医協)の課題に対してこの機関が対処することとした。また, 学会として診療報酬体系などの諸問題についてもここで協議, 検討することとした。
 (15) パネルディスカッション: 「包括医療時代の到来—DPCの導入をめぐる—」の開催
 第67回学術集会期間中に, 新しい DPC 診断

群分類及び包括医療の現況と展望についてのセミナーを開催した。

(16) 心臓移植実施施設の拡大について

心臓移植関連学会協議会(日本胸部外科学会, 日本心臓血管外科学会, 日本移植学会, 日本心臓移植研究会, 日本小児循環器学会, 日本循環器学会)において, 移植実施施設の選定について検討を重ね, 候補施設のサイトビジットを行った。結果, 該当施設を移植関係学会合同委員会に推薦した。

(17) 心肺蘇生法普及活動

第67回学術集会期間中に, ACLS 講習会, 医師向けセミナー, 市民向けセミナーを開催した。

9. その他の刊行物など

- (1) Circulation Journal Vol.66 Supplement IV, 2002 循環器病の診断と治療に関するガイドライン(2000-2001年度合同研究班報告)および委員会報告(2001-2002年度合同研究班報告)

- 急性冠症候群の診療に関するガイドライン

- 心疾患における運動療法に関するガイドライン

- 弁膜疾患の非薬物治療に関するガイドライン
- 肥大型心筋症の診療に関するガイドライン
- 自動体外式除細動器(AED) 検討委員会報告書

- (2) 循環器研修ビジュアルシリーズ (VHS/CD-ROM)
Vol.1 「急性重症心不全の診断と治療」

Vol.2 「抗不整脈薬の使い方(I)」

- (3) 第1回卒前セミナー, テキスト

- (4) 日循英語ホームページ紹介用 CD-R(AHA ブースにて配布)

- (5) 禁煙推進のための市民公開講座での小冊子

- (6) 禁煙推進のために, 循環器疾患と喫煙に関する情報を一般市民にわかりやすく伝えるためのポスター

- (7) 喫煙と循環器疾患に関する情報を一般市民にわかりやすく伝えるための動画(心筋梗塞編・末梢血管疾患編)。ホームページ上で公開。

Circ. J. Vol. 66 刊行状況

| 原 著 論 文 | | | 学術集会記録 他 | | | 本 文 頁 数 計 |
|------------------|-----|-------|----------|-------|-----|--------------|
| 論文数 | 頁 数 | | 抄録数 | 頁 数 | | |
| Circ. J. (英文誌) | | | | | | |
| No.1 | 21 | 116 | — | — | 8 | 124 |
| 2 | 20 | 102 | — | — | 6 | 108 |
| 3 | 18 | 91 | — | — | 6 | 97 |
| 4 | 22 | 119 | — | — | 6 | 125 |
| 5 | 21 | 97 | — | — | 5 | 102 |
| 6 | 21 | 93 | — | — | 4 | 97 |
| 7 | 20 | 91 | — | — | 4 | 95 |
| 8 | 15 | 68 | — | — | 4 | 72 |
| 9 | 20 | 93 | — | — | 5 | 98 |
| 10 | 22 | 110 | — | — | 4 | 114 |
| 11 | 19 | 89 | — | — | 4 | 93 |
| 12 | 21 | 108 | — | — | 58 | 166 |
| 小計 | 240 | 1,177 | — | — | 114 | 1,291 |
| Supplement (和文誌) | | | | | | |
| I | — | — | 2,429 | 829 | 51 | 880 |
| II | — | — | 1,005 | 119 | 1 | 120 |
| III | — | — | 928 | 119 | 1 | 120 |
| IV | — | — | — | 308 | 8 | 316 |
| 小計 | — | — | 4,362 | 1,375 | 61 | 1,436 |
| 合計 | 240 | 1,177 | 4,362 | 1,375 | 175 | 2,727 |

『循環器専門医』誌刊行状況(専門医制度委員会)

| | | | |
|-------------|-----|----|-----|
| Vol.10 No.1 | 192 | 30 | 222 |
| Vol.10 No.2 | 164 | 34 | 198 |
| 計 | 356 | 64 | 420 |